



FC TOREROS

NEWSLETTER

NO.14
2011年11月号

発行時期
毎月1回(最終土曜日)

【エフシートレロス】
ニュースレター



(撮影) 2011年10月28日、下高井戸運動場にて行われたオープンデイに米山篤志選手/元日本代表が遊びに来てくれました!

Monthly Report

●さわやか杯/東京都中央大会に出場!

全日本少年サッカー大会に引き続き、さわやか杯において東京都中央大会に杉並区代表として出場しました。今回は初出場ということもあり、試合前から浮足立ち、完全にお上りさん状態…。試合でも、良い場面を作れず、後味の悪い試合となってしまいました。その点に関しては、前回の経験を生かし、落ち着いて試合に入ることができ、試合においても自分達のサッカーを披露してくれたと思います。しかし、終始相手を押ししていたものの、セットプレーからの失点で0-1で敗退。悔しい結果となってしまいましたが、まだまだチームとして力不足という証。サッカーの神様はそう容易く歩み寄ってきません。6年生にとっては、小学生年代の都大会に繋がる大会は終わってしまいました。しかし、来年頭に行われる区長杯、そしてジュニアユースへ向け、今回の経験を糧にもう一度むけるよう頑張りましょう。皆の更なる成長を期待しています!!



●ASIJサッカーフェスティバルにて国際交流

10月29日、毎年恒例のASIJ(American School in Japan)主催のサッカーフェスティバルに1~3年生が参加しました。トレロスが掲げる『フットボール+1』。サッカーの最大の魅力は、ボール一つあれば、世界のどこでも、誰とでも楽しむことができるグローバル・スポーツであること。サッカーを通じて多くの仲間を作り、仲間とより親密になることができる。サッカーだからこそ、国籍、言葉の壁を低くすることができるのです。感受性の強い小中学生ではなお更でしょう。今回も英語やフランス語が飛び交う国際的の雰囲気の中、子ども達は各国の仲間との関わりを通し、多くの刺激を得たのではないのでしょうか。今後もフットボール+1をキーワードに活動を行います。来年は今年以上に積極的な活動を行う予定です。今後、ジュニア、ジュニアユース共に、自然体験、乗馬体験などのデイキャンプ、コパ・トレロスの運営サポート、そして海外遠征などを通して、子ども達がサッカーを通して多くの経験を積める場を作りたいと思います。



News

●岡田武史氏(前日本代表監督)による特別セッションが決定!

フランスW杯、ドイツW杯にて日本代表を率いた名将・岡田武史監督が特別コーチとしてトレロスにやってくる事が決まりました!!当日はU12の選手たちを対象にトレーニングを行う予定です。AFC(アジアサッカー連盟)最優秀監督賞を受賞するなど、数々の功績を残した名将による指導。この貴重な機会に多くのものを吸収できるよう、日々の活動からしっかりと準備していきましょう!

〔日程〕2011年12月21日(水) 17:00-18:00 〔会場〕善福寺公園テニスクラブ

●第1回 親学セミナー開催について

トレロスでは、年に2~3回の『親学セミナー』を開催します。当セミナーは、子どものプロの方々から話を頂き、子育てに奮闘されている、キッズサポーター(お父さん、お母さん)にヒントやエールを送るもの。第1回目となる今回は、以下日程で開催します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております!!

〔日時〕2011年12月17日(土) 午前中を予定 〔会場〕調整中 〔費用〕無料

〔講師〕高田貴志氏(鳥取県サッカー協会事務局長)

Toreros Voice

先月、陸前高田市にて行われたサッカー教室の手伝いに行ってきました。今回、初の被災地(陸前高田と気仙沼)訪問となりましたが、その惨状に言葉が出ませんでした。半年たった現在でもがれきの山。気仙沼に関しては手つかず状態…。その地に立っていると、悲しいとか凄いとかがいってではなく、ただ単に何も考えられない思いでした。そんな中、現地の方々の強い意志、そしてボランティア活動をしている方々の熱い思いには頭が下がります。「力を合わせてがんばろう!」を合言葉に必死に困難を乗り越えようとしている。本当に強い意志をもっていきます。学校に通い、家族と共に生活をする。そして好きなサッカーを思う存分に楽しめる。そんな当たり前で過ぎて私達の日常生活。被災地の子ども達にとって、このような生活を取り戻すことが一番の望みなのかもしれません。私達が過ぎてこの生活がいかに恵まれているか。日々感謝して過ごす必要はありません。だからこそ、常に全力で取り組むことが大切。特に好きなサッカーにおいてはなお更。『日々の生活を全力で取り組むこと。取り組めることに感謝すること』。だからこそ、被災地の方々から私達が学ぶべき部分なのかもしれません。